



小笠原村立母島小中学校 校歌

作詞作曲 川幡 潤子

一 空にはばたく 鳥のように

海にきらめく 波のように

自由に 明るく たくましく生きる

赤く燃えてる夕日を

高くそびえる剣先を

心に映し いつの日も

ともに生きゆく 心豊かに

われらの母校 母島小中学校

二 空に輝く 光のように

海にさざめく 波のように

自由に 明るく たくましく生きる

青くのびゆくヤンの木を

はるか広がる海原を

心に映し いつの日も

ともに生きゆく 心豊かに

われらの母校 母島小中学校

「母島」という物語

小笠原村立母島小中学校

教育目標

母島を誇りに思い、共によりよい社会を築くことのできる人間を目指し、自ら困難を乗り越え、思いやりをもって心豊かにたくましく生きる児童・生徒の育成を図る。

- (1) 意欲的に学ぶ児童生徒
- (2) 自らきたえる児童生徒
- (3) 社会のために尽くす児童生徒



児童・生徒数

児童数 32名 生徒数 12名 (令和3年5月現在)

住所 〒100-2211 東京都小笠原村母島字元地
 電話 04998-3-2181 FAX 04998-3-2184
 HP <http://www.hahashouchu.ogasawara.ed.jp/>

母島で教え、教わる

「――母島という物語――」

浜辺にて寄せては返す波のように、母島では出会いと別れが繰り返されています。それらは人と人とのつながりを生み、物語が紡がれています。ひとつひとつの物語は静かに積もっていき、やがてこの島のもつ歴史の一部となっていきます。私たち教員にとってこの島で働くということは、母島という物語の流れに加わることを意味しています。

母島は美しいところです。島の自然が織りなす風景が美しいのはもちろんのことですが、子供たちの純粋なまなざしや島の人々の温かさ、地域の行事やその一体感、そういったいろいろが美しいといえます。東京から約一〇〇キロメートル南の小笠原諸島、そこに母島があります。竹芝桟橋からおがさわら丸で

父島へ、そこからははじま丸に乗り継ぐ二航海。母島に着くには二十六時間ほどの時間が必要となります。母島が近づく中で目にする光景が心に焼きつき、忘れられないものになることでしょう。ポニンブルーと呼ばれる海の色、島の木々の鮮やかな色合いが作り出す景色。入港し、船から降りたところで行われる出迎え式。子供たち、村の人たちの温かい歓迎を受け、母島での教員としての物語はそこから始まります。

島での生活は、都市部での生活に比べ、不便な部分があることは否めません。しかし、それを補っても余りある魅力がここ母島にはあると思うのです。ここで、子供たちとかかわり、日々の生活を送る中で大切なものを教わっているような気がします。ここでの経験は教員として、人として人生におけるかけがえのないものとなるはずです。

母島小中学校が目指す教育を理解し、力を尽くしてくれる先生
情熱にあふれ、向上心があり、心身ともに健康な先生
子供たちはもとより、地域とのかかわりを大切にしてくれる先生



母島小中学校では、こんな先生方を求めています。

母島の教育
○母島の学校は、小学校・中学校の併置校で、義務教育9年間で子供の成長を考える「小中一体の学校運営」を行っています。校舎も芝生を生かした一体型のものです。
○令和3年5月現在、児童は32名、生徒は12名、合計44名在籍しています。
○地域の特性を生かし、小笠原の自然、歴史、伝統・文化への理解を深め、郷土や母校に対する誇りや愛着を育むための教育活動を行っています。
○ALTを活用し、英会話や外国の文化を体験的に学び、コミュニケーション能力を養う活動を実施しています。

母島小中学校は東京の最南端にある学校です。世界自然遺産である小笠原の豊かな自然環境の中で、力を発揮してくれる先生をお待ちしています！

令和三年度赴任者の声

母島の子供たちの印象は？

とても素直で元気があり、明るい子供が多いです。

小・中学校九学年の子供たちが過ごす校舎内では、中学生が手本となって動き、それを見習って小学生が生活しています。校内での生活規律、学習規律を自分たちで考え、行動している印象があります。

素直で素朴。好奇心が旺盛で逞しい印象です。

小学校教員

中学校教員

母島ならではの良さや、母島での仕事でやりがいを感じる時はどんな時ですか？

少人数であるため「個」に目が行き届きます。小中学生が一体となった実践が見られ、授業力アップにつながります。また、保護者や島の住民の方々との距離が近く、話し合いや連絡がすぐにできます。

小学校教員

買い物で宅配をしてくれるところや職住から海がすぐ近くなので子供が遊びやすいところ等の良さがあります。やりがいは、子供が少人数なためか、比較的先生たちに余裕があつて、すぐに対応してくれるところ、校舎がきれいで使いやすいところです。

小学校事務職員

自然が豊かで子どもたちがのびのびと学べる環境だと思います。少人数なので、一人ひとりと向き合う時間があり、コミュニケーションを取りながら授業でのつまづきを解消できると思います。

中学校教員

島での生活は大変ですか？

全て内地(島では本土のことを内地と言います)と同じ、というわけにはいきませんが、内地では決して経験できない魅力がたくさんあります。

小学校教員

船の入港や食材の確保は、慣れてしまえば大変ではありません。退勤後や休日には、様々な活動に参加できるので、充実した時間を過ごせます。

小学校教員

物が手に入りにくいこともありますが、慣れば不自由ありません。自然豊かな村での生活は貴重な経験になります。

中学校教員

